

英語論文講座を開催しました！

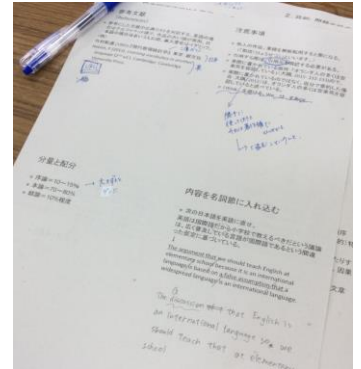
7月22日(月)に、宮崎公立大学人文学部の麻生雄治 教授をお招きし、高校2年国際科80名の生徒を対象に「英語による論文作成方法」について御指導いただきました。論文とは単に先行研究を調べてまとめたレポートではなく、主張および客観的な論拠や証明を含む論理的に記された著作である、とのお話がありました。英語論文の構成要素は、①Introduction (はじめに) ②Purpose (目的) ③Related Literature (先行研究) ④Study (方法) ⑤Results (結果) ⑥Discussion (考察) ⑦Conclusion (結び) ⑧Further Research (今後の課題) ⑨References (参考文献) であり、各章で記述すべき内容や注意点を御教示いただきました。また、「テーマはできるだけ小さく絞り込もう」「②の章にリサーチクエスチョンを入れると効果的です」「『だから』と表現したいときは、so ではなく therefore を用いましょう」とのアドバイスをいただきました。序論(10~15%)・本論(70~80%)・結論(10%)の理想的な割合や、in addition (さらに)、as a result (その結果)、the point is (重要なことは)等の頻出表現についても学ぶことができました。演習では、「日本人ユーザーの現状を把握する目的で、アンケート調査を実施します。」等の英訳に取り組みました。模範解答は、We will do a questionnaire survey to learn about Japanese users. でした。



ユーモアあふれる講義に生徒も集中していました。



和文英訳演習でのペアワーク ↑
しっかりメモがとれています →



イタリアのトレント大学職員と交流しました！

7月25日(木) 交換留学制度がある長崎大学経済学部を訪問中のロレンツァさんが来校し、国際科2年6組の生徒と交流しました。イタリアトップレベルの公立総合大学であるトレント大学の紹介や、イタリアの食べ物、国旗の色、長崎の感想など生徒の英語による質問に英語で応答していただき、和やかな時間を過ごすことができました。ロレンツァさんから以下のフィードバックをいただきました。和訳は考えてください。

Very emotional and touching experience. Very good opportunity to develop ideas about further involvement of exchange students in volunteering activities. I hope the high school students have appreciated my speech and presentation and they have found them useful and informative.



英語で東高を紹介。茶道部、いけばな部、東龍に注目されていました。



トレント大学は16000人の学生が学んでいます。英語の質問にも丁寧に答えていただきました。

